



## Dai-Nippon. (O Grande Japão)

MORAES, Wenceslau de  
Lisboa : 1897

モラエス『大日本』

本書は、ヴァスコ・ダ・ガマのインド航路発見400年記念祭当日である1897年6月28日に、リスボンで刊行された。これは、ポルトガルで盛大な国家的祭典を挙げる際、その記念事業の一環として、リスボン地理院から東洋に関する著述を出版させることになり、その中で日本の部をモラエスに委嘱したからである。本書「歴史」編は、神代から日清戦争までの日本史の概要を、また、「美術工芸」編では、北斎や歌麿の作品などを描き、全編にわたって独特の態度による周到な観察を巧妙に表現し、同情的肯定的な解釈を施し、一流の筆致で読む人を引きつけている。モラエスは売名を嫌って自著は絶対に再版させなかった。しかし、親友ヴィセンテ・デ・アルメイダ・デーサは、モラエスに無断で1926年、再版3,153冊を刊行したため、モラエスはデーサと絶交した。それでモラエスの生前に再版が出たのは本書のみである。